

愛知県長久手市の小学校で「出張工場見学」を実施 ～出前授業で新たな学習機会をご提案！ 展示車が学校に！～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 黒野 透、以下 日東工業）は、2023年度、愛知県長久手市の小学校3年生を対象に4校、約570人に「出張工場見学（1校はリモート工場見学）」を実施しました。

「出張工場見学」は、①工場見学ブース、②体験ブース、③展示車ブースの3つに分けて実施。①工場見学ブースでは、スケルトン仕様で中が見えるブレーカーを1人1台配付し、入り・切りを体験し、ブレーカーの切れる仕組みなど電気を安全に使うために必要なブレーカーや分電盤の役割などを勉強。②体験ブースでは、働く人の工夫や教室の中にも日東工業の製品があり授業を支えていることなどをクイズ形式で勉強。また、手回し発電機で発電した電気でファンを回転させ、ピンポン玉を浮かせる機器を通して電気の見える化を体験。③展示車ブースでは、展示車が学校へ訪問し製品を身近に見学する機会を創出。ブレーカー、分電盤の触れるコーナーでは実際にハンドルのオン・オフなどを体験してもらいました。

今回の「出張工場見学」で学んだことをまとめてもらうため、子どもたちに「日東工業の紹介ポスター」を作成してもらいました。（次頁参照）

日東工業はこれからも子どもたちの教育支援を行い、地域の皆さまに寄り添える企業を目指していきます。

■小学校での出張工場見学風景



展示車で製品を身近に見学



電気を発電し、風を発生させ電気の見える化を体験

【子どもたちが描いてくれた日東工業の紹介ポスター（一部）】

長久手市立市が洞小学校



長久手市立北小学校



長久手市立南小学校



長久手市立西小学校



●特設サイトの「ソーライオンの部屋」にも掲載しています。

●リノモラッピング車両「ソーライオン号」の車両内にも掲示予定です。（2024年5月予定）

